

早稲田大学校友会佐倉稲門会について

佐倉稲門会は1986年(昭和61年)10月18日に産声をあげました。佐倉厚生園記念館で開催された設立総会には会員60名と、来賓として早稲田大学から小山宙丸常任理事(後の総長)、佐倉市から菊間健夫市長が出席されています。現在まで続くコンサート活動は設立時から始められており、設立総会に先立って佐倉市民音楽ホールでボニージャクスのコンサートが開催されています。稲門会設立の中心となった方々は、高校の校長、教頭出身の方が多く、**初代会長の大塚嘉一郎氏**が文学部出身以外、教育学部出身の方が役職を占めています。現役の大学生4名が役員に名前を連ねており、精力的に会員を募ったことが想像されます。

1993年(平成5年)に二代目会長に就任された滑川恒壽氏も教育学部出身で、佐倉稲門会活動の三つの目的「会員相互の親睦の深化」「母校早稲田大学の発展に協力」「地域社会の文化向上に寄与」を決められ、会員の方々のみならず関係する多くの方々に喜ばれ慕われる活動を行ってこられました。

2005年(平成17年)には、三代目会長に花川宏氏(理工学部卒業)が就任され、多くの親睦行事や同好会活動を始められ会員の増強と会の隆盛を確固たるものにしてこられました。

2011年(平成23年)、四代目会長に就任された高橋輝久氏(法学部卒業)は、自ら俳句、座禅、能と謡の集まりを主催されるなど会の活性化を図ってこられました。

2015年(平成27年)五代目会長松平武史氏(商学部卒業)が就任されました。佐倉稲門会の主要行事となっているコンサート開催を中心に運営されるとともに、野草を食べる会、ゴルフサークルを主催され、2016年(平成28年)6月に発行された佐倉稲門会30年誌をまとめられました。また、2018年(平成30年)4月には早稲田大学校友会千葉県支部長に就任され、4年間千葉県支部の発展に寄与されました。またこの間大学評議員としても大いに活躍されました。

そして2018年(平成30年)六代目会長竹鼻始氏(理工学部卒業)が就任されました。多彩な行事や活発な同好会活動が継続するようリーダーシップを発揮されました。コロナ禍が3年間続き対面の活動を自粛せざるを得ませんでした。その間も会員相互のコミュニケーションを図るべく腐心されました。これは千葉県下の他の稲門会からも高く評価されています。

そのような先輩方の多くの実績を引き継ぐ形で、2023年(令和5年)6月の総会のご承認を得て、私が第七代目の会長に就任しました。 1973年(昭和48年)政治経済学部卒業です。

現在佐倉稲門会の会員数は約160名、佐倉市と酒々井町在住が中心ですが、近隣の校友も会員となっています。千葉県下24地域稲門会の中でも、佐倉稲門会は活動が多彩でとても魅力的だと言われています。これは、歴代の会長を始めとする会員の皆さま、校友の皆さま、地域の皆さまのご支援の賜物と考えています。

微力ではありますが、多くの方々から愛される和気藹々とした交流の場としての佐倉稲門会を目指して努力していきたいと思っています。皆さまには、今後とも益々のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

またこのホームページをご覧になった皆さまの中で、佐倉稲門会で一緒に活動したい方はご連絡をお待ちしております。

佐倉稲門会会長 森山泰充